

い習慣を取り入れることができます。また、昼休みに自分たちの学校にはない遊具で遊べたり、授業がいつもの先生と違って楽しく受けられたりする楽しみもあります。校舎の造りも違うので、本当に実現したらおもしろいと思いました。

■スキー教室に年1～2回行けたら



西高津小 松尾 優花

みんなに「どんな学校行事をつくりたいですか」と聞いたら、スキー教室をやりたいという友だちが多かったからです。八千代市は雪が多く降らないため、校庭に雪が積もったときには、全校のみんながすごく喜んでいて姿を思い出しました。スキーはスキー教室の先生に教えてもらい、年に1～2回行けたらいいなと思いました。

■職業体験で将来を具体的に知ろう



村上小 村田 紗季

学校の最高学年の三学期に、学年のみんなと、職業体験すると良いと思います。これを考えたきっかけは、学校の授業で、未来のことについて勉強したり、私の姉が中学2年生のときに、職業体験をしていたりしたからです。これをすることによって、将来の夢がまだない人や、将来の夢が決まってもどんなことをやるのか具体的に知らない人が知る、良いきっかけになると思います。

■高津地区全体を使ったおにごっこ



高津小 堀内 愉晏

私が学校の行事でやってみたいことは高津地区全体を使ったおにごっこです。その理由は、普段のおにごっこは、多いときでも30人くらいでしかできないので、学校全員でやったらものすごく楽しいものになりそうだからです。おにも20人くらいで、逃げる人は580人。逃げる範囲はすごく広いので、いつおにがくるかわからないスリルを味わいながら楽しむことができます。

■ほかの学校の人と交流できる文通



米本南小 高崎 彩乃

ほかの学校の人と文通をすることができたら良いと考えます。文通を通して、より交流を深められると考えるからです。例えば、A小学校6年1組はB小学校6年1組に、C小学校3年2組はD小学校3年2組にお手紙を出します。出すことを想像すると、返事が待ち遠しくわくわく

- 八千代松陰高 ▶ 関東高等学校陸上競技大会【男子5,000m】1位…石井一希、【男子3,000m障害】1位…中園慎太郎、2位…富田峻平 ▶ 県総合体育大会 陸上競技【男子5,000m】2位…石井一希、【男子3,000m障害】1位…中園慎太郎、2位…富田峻平、【女子800m】3位…小野夕音、【男子八種競技】3位…清水将貴、新体操【女子団体】2位、レスリング【男子団体】3位、【男子個人】60kg級3位…板垣凜、65kg級3位…舟山岳、71kg級3位…川中健介、80kg級3位…橋本愛弥、バスケットボール【男子】優勝 ▶ 県民体育大会 新体操【女子】2位 ▶ 県少年選手権 新体操【女子団体】3位、【種目別クラブ】1位…臼杵綾乃 ▶ 春季県高等学校軟式野球大会 準優勝
 - 秀明八千代高 ▶ 関東高等学校テニス大会【女子団体】準優勝 ▶ 関東高等学校テニス選手権【男子シングルス】優勝…白石光、【男子ダブルス】優勝…白石光、坂川広樹、【女子シングルス】優勝…西郷里奈 ▶ 高等学校総合体育大会県予選 テニス【女子ダブルス】優勝…西郷里奈、進藤万里依 ▶ 全国高等学校総合体育大会 テニス【男子団体】優勝、【男子シングルス】優勝…白石光、【男子ダブルス】優勝…白石光、坂川広樹
- クラブチームなど
- 朝日旗争奪関東団地少年野球中央大会 3位…西高津クラブ ●全日本学童軟式野球大会県予選 準優勝…大新ジャガーズ ●全国少年少女武道錬成大会3位…全国道場少年錬成大会3位…大和田剣友会

ます。その学校に興味を持つかもしれないし、友だちができることも考えられます。場所によっては、中学校でその人に偶然会えるかもしれません。そのような素敵なことが起これば嬉しいです。

■演芸発表会で学校を明るくしたい



高津中 吉田 日和

学校の体育館で、お笑いのようなものを発表し合います。この行事で普段の学校生活での疲れを癒したり、みんなで嫌なことを忘れて、たくさん笑おうという意味があります。これによって学校全体が明るくなり、みんなが学校に来るのが楽しくなると思います。発表者はみんなが楽しくなるようなものをするのがルールです。

■衣装を着て楽しく学ぶ日本史体験



秀明八千代中 藤本 愛

忍者や十二単などさまざまな衣装を着ることができるという体験で、今の服との違いや日本の歴史を楽しく学ぶことができると思います。また、ファッションに興味がある人でも、このような体験はなかなかできないと思いました。私はもっと楽しんで日本史を勉強できるように、このような体験があったらいいなと思いました。

■学年交流会で仲良くなるチャンス



秀明八千代高 田崎 彩夢

高校では、一学年全体と交流することは難しく、高校を卒業して大人になってからお互いを知るといこともあるようです。そこで、一学年全体で話をしたり、レクリエーションを行ったりすることで今まで関わったことのない人と仲良くなるチャンスの方ができると思いました。もしできたなら、今よりもっと仲間が増えて楽しく学校生活を過ごすことができると思います。

■中学校でも文化祭をやってみよう



八千代中 味田 さゆり

クラスの人に聞いてみると、スキー教室やハロウィン、クリスマスパーティーなどの意見がありましたが、その中でも文化祭をした

いという人がたくさんいました。文化祭は高校からというイメージが強く、お金もかかるので中学校では少し難しいかもしれませんが、クラスで協力して準備することで団結力が深まったり、地域の方との交流を深めたり、目上の方への話し方も身につくと思います。お金がかからないものを考えて行えば、笑顔あふれるとても素敵な行事になると思います。

■避難生活を体験して意識を高める



八千代台西中 齊藤 那津樹

時々、全校で地震や避難生活について集会が開かれます。経験したことのない人は避難生活がどのようなものか想像が付きにくいと思います。大規模な地震が発生すると西中も避難所になり大勢の人が集まります。そのときに西中生がいろいろな人に協力するには、事前に同じ生活を体験しておかなければならないので、一日体育館で体験する機会をつくり、災害時の意識を高めていったら良いと思います。

■自分たちでつくり上げる修学旅行



八千代松陰高 愛川 侑生

予算を決め、行き先をグループで話し合い、プレゼンし、投票により決定します。日程を考え、宿泊先や交通機関へ問い合わせたり、観光場所や食事処を考えたり、自分たち独自の「修学旅行」をつくり上げます。大変だと思いますが、行程を決める計画力や問い合わせなどの対応力、行動力が鍛えられ、旅行全てを自分たちで決める中で貴重な経験ができると思います。一生心に残る修学旅行をつくれたらうれしいです。

■全校で風景を写生して作品を展示



八千代西高 石田 真矢

中学校の頃は、毎年秋にあったのですが、高校はないのであったらいいなと思いました。人数が多くて大変ですが、全校で風景を写生するって良いです。一人ひとり物の捉え方が違うし、絵の上手い人もそうでない人も、同じ風景をさまざまな形や色で描いて、見ていて楽しいと思います。完成した作品は、学校内に展示したり、優秀な作品は表彰したらやりがいがあると思います。

いますが、一人ひとりがルールとマナーを理解し、守って楽しむことが大事だと思います。

■何のために増税するのか



千葉英和高 地蔵堂 美晴

来年には消費税が8%から10%に増税になります。しかし何のために増税する必要があるのかわかりません。その年で決められた工事費用が余ってしまうと、来年の工事費用がもらえなくなってしまふから、同じ所や無駄な所を工事していると聞いたことがあります。そんなことをしているのに増税してほしくないなと思いました。

■気になる少子高齢化問題



阿蘇中 櫻井 涼乃

私は少子高齢化という問題についてとても気になりました。都市部に労働者が集中してしまい、地方では老老介護が増えているということを知り、地方を栄えさせ、都市だけに人がたよらないようにすべきだと思いました。



■命を守る万全の状態を



陸中 粟飯原 暉

異常気象が頻繁に起きていて、また地震なども多いことから、いつ災害が起きてもおかしくない状態になっていると思います。だからこそ自分の命を守るために、万全の状態にいることが大切だと思います。非常用リュックの中の物の確認、災害発生時の集合場所決め、防災用マップを見るなど、できることがたくさんあると思います。

■マナーを守って楽しんで



村上中 諏訪 真美子

大きなイベントの時期になると、渋谷では毎年大勢の人が集まります。しかし、度が過ぎる遊びや、大量のゴミなどが今年もまた問題になっています。イベントを楽しむことは良いと思